

舵角発信器

舵角、方位角、ピッチ角のインジケータ



DEIFの舵角/方位角発信器は、舵角または方位角のスラスター位置角度を16ビット分解能 ($\pm 180^{\circ}$ eg. = ± 32767) で電流信号またはデジタルデータ値のいずれかに変換します。

ポテンシオメーターとは異なり、DEIFの発信器は「ノータッチ」による磁気角度検出技術を使用しています。電気機械部品がないため、この技術は発信器の最適な精度、性能、長寿命を保証します。

DEIFの舵角および方位角システムは、MEDの認証を受けているため、使い勝手も簡単で等級承認が即時に行えます。

その堅牢な機械的設計とIP 67保護によって、発信器はあらゆる船舶での使用に適しています。

一般的な特長

- ▶ 舵角、方位角、ピッチ角に適格
- ▶ 「ノータッチ」の磁気角度検出 - 消耗なし
- ▶ 精度 $< 0.25^{\circ}$
- ▶ 1つ以上の検出器との直接接続するアナログまたはCAN bus出力
- ▶ 角度位置範囲は $\pm 20^{\circ} \sim \pm 180^{\circ}$
- ▶ 連続的な軸回転
- ▶ 時計回り/反時計回り、ゼロ設定、最大・最小値調整

バリエーション

特長

RTA 602	アナログ。 2線 4 ~ 20 mA DC。 方向舵に直接接続する $\varnothing 19$ mmのステンレス鋼軸 90°取り付けブラケットとの併用で利用可能 DEIFのRT-2舵角発信器に直接対応しています。
RTC 300	CAN bus。 $\varnothing 6$ mm 標準アックスル。
RTC 600	CAN bus。 方向舵に直接接続する $\varnothing 19$ mmのステンレス鋼軸 90°取り付けブラケットとの併用で利用可能 DEIFのRT-2舵角発信器に直接対応しています。

モデルの概要



RTA 602



RTC 600



RTC 300

